

講師の先生方のご紹介 その1



医学科 5期 **野出孝一** 先生 佐賀大学医学部長

循環器病研究の今後

心血管病は日本人の死因の30%を占め、健康寿命の延伸にも大きな影響を与える。高齢化社会の中で今後も増加する疾患である心血管病治療の進歩は著しいが、一方で、重症心不全管理など、未だ解決できない重要な課題も多い。従来の臓器別から全体のネットワークの中での循環器病を捉える視点が必要とされている。「社会と協奏する高血圧学」や「社会を拓く循環器学」という観点から、今後の循環器病研究の在り方として私見を述べさせていただきます。



医学科 16期 **山本和子** 先生 琉球大学大学院医学研究科
感染症・呼吸器・消化器内科学講座 教授

感染症研究の道標：琉球から世界を見据えて

私は1999年に佐賀医科大学医学部医学科を卒業した16期生です。学生時代は伸び伸びと育てていただき、硬式テニス部に所属し、とくに高学年になって情熱を燃やし仲間に恵まれ、練習や試合に明け暮れました。6年時に九州・山口医科学学生体育大会、西日本医科学学生総合体育大会、全日本医科学学生体育大会王座決定戦の3大会を制覇したことは、為せば成る、というマインドに繋がっています。

医師としては国立国際医療センターの内科初期研修で第一歩を踏み出し、同院のエイズ・治療研究開発センターで感染症学の面白さに魅了されました。内科後期研修は長崎医療センターの消化器・肝臓内科で行い、内視鏡・超音波・血管内治療に興味をもちました。専門分野を迷いましたが結局、疾患が幅広く、感染症診療の多い呼吸器内科に決めました。長崎大学大学院で肺炎球菌と薬剤耐性の研究を行い2007年に学位を取得し、感染症領域の指導者を多く輩出している長崎大学第二内科に入局しました。肺感染症の宿主免疫に興味を持ち、2009年より4年間米国（ボストン）で研究留学として、肺炎における肺上皮細胞とマクロファージ分子を明らかにする感染免疫研究を行いました。帰国後は長崎医療センターで感染症内科を立ち上げ、長崎大学第二内科で感染症班初の女性チーフを務めました。2020年よりCOVID-19診療に奮闘して複数の介入研究を手掛け、2022年10月に医学研究科の女性教授第一号として現職に着任しました。沖縄では年間1,000万人が行来する観光県かつユニークな地理、歴史、生活習慣から、全国に先駆けて新しい感染症が流入し、ダイナミックに医療へ影響を及ぼします。この地で感染症研究を大きく育み、世界と繋がり発信する仕事に挑戦していきます。本講演ではこれまでの背景、現在取り組んでいる診療と研究、未来創造の抱負をお話したいと存じます。当日皆様にお会いするのを楽しみにしています。

講師の先生方のご紹介 その2



看護学科
15期

北川 誠也

先生

佐賀県医療センター好生館
救命救急センター 副看護師長

救急看護特定認定看護師として～これまでの活動とこれからの活動～

私は佐賀大学医学部在学中、看護実習の中で救急医療の魅力にとりつかれ、看護師として13年間のキャリア初期から救急看護に深く関わってきました。看護師として最初に勤務した雪の聖母会聖マリア病院では、看護師1年目から「救急は診療の補助ばかり」「救急には看護がない」と考えていました。しかし、現在勤務する佐賀県医療センター好生館では救急医療の中で看護の重要性を見出し、それを実践する大切さを先輩の認定看護師より学びました。看護師6年目には日本赤十字九州国際看護大学看護継続教育センターで救急看護認定看護師教育課程を修了し、救急看護認定看護師の資格を取得しました。その後、認定看護師として経験を積む中で自分の知識・技術をタイムリーに患者に還元したいと考え、救急領域パッケージの特定行為の資格も取得しました。

これらの資格取得により、私は救急看護における多様なスキルと知識を身につけました。今年度より救命救急センターの副看護師長に昇進し、人材育成、組織管理を含むマネジメント能力の向上に日々努めています。また、今年度から他スタッフと協働し「救急外来における帰宅時支援」を開始しました。この支援は入院せず救急外来から帰宅する高齢患者に対し、病態だけでなく、加齢変化による生活への影響および支援者の存在を把握し、帰宅後の継続ケアを地域の専門職と連携し支援をしたいという私の長年の思いを形にしたものです。このような包括的な支援を通じて、患者が安心して自宅で生活できる環境を整えることを目指しています。地域社会との連携を強化し、医療と福祉の統合的な支援体制を築くことで、患者の生活の質の向上と自立支援に寄与したいと考えています。

今後も救急看護の専門性を追求しつつ、地域に根ざしたケアの提供を通じて、患者の生活の質を向上させるための活動を続けていきます。今回は、これまでの活動内容を振り返りつつ、お話をさせていただきます。